

タイトル 「研究発表 I」

学校名 横須賀工業高等学校 P T A



生徒たちのスナップショットや作品の画像をたくさん使い、県工に興味を持っていただけるようにオープニングムービーを作りました。

ワクワクする県工へようこそ!!

★県工の紹介

今年 80 周年を迎えるにあたり、歴史を軽くご紹介。あれ？どこかで見たことがある、大先輩の当時の写真が…?!

そして、学科の紹介。機械・電気・化学に続き、来年度新設される建設科。特色ある授業や施設にご注目!!

ものづくり精神にあふれる文化祭、珍しい部活動と資格取得についてなど…他の学校にはない県工らしい一面にスポットライトを当てました。



★What 's wrong having fun?

本題の P T A 活動の紹介です。

運営委員会は他の学校とあまり変わらないので割愛させていただきます…

成人委員会・ふれあい委員会・広報委員会のそれぞれの活動を、各委員会の委員長が説明しました。

コロナ禍で活動が制限される中、成人委員会はバスツアーを体育館でのヨガ教室に。ふれあい委員会はご近所のみなさんにも見ていただけるよう、花壇の植え替えを。広報委員会は行事が中止になって記事がなくなったのを逆手にとって、県工の歴史や設備、学食メニューの紹介、頑張っている生徒の取組など、例年とは違う内容の広報を発行。各委員会が工夫をしている様子を発表しました。



保護者と先生方の距離も近く、快くお互いに協力しあう姿が、とても暖かく和やかな雰囲気をつくり出しています。

現在は、大昔のイメージ、払拭できました！勉強に、資格に、部活に頑張り、就職を視野に入れて技術を習得する学校、県工。そして愉快的な P T A。これからも「できる人ができる時に楽しく！」をモットーに、楽しさ重視の活動をしていきます。

タイトル 「研究発表Ⅱ」

学校名 横須賀南高等学校 P T A

講演テーマまたは研究テーマ 「P T Aの合併について」

神奈川県立横須賀南高等学校は、令和2年度に大楠高校と横須賀明光高校が合併してできた新しい学校です。元々横須賀明光高校は久里浜高校と岩戸高校が統合してできた学校なため、本校は4校が合わさってできた学校となります。本校には普通科（クリエイティブスクール）と福祉科の2つの科があります。普通科は「わかる授業」を目標に、少人数クラスで学びなおしを支援した体制があり、人と関わりながら学校行事を通して成長できます。保護者と学校の連携を大切にし、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、キャリアカウンセラーが配置されています。福祉科では、福祉の心をもった生徒の育成をし、多くの体験から福祉の技術を学び、進学し国家資格を取って、生涯の仕事を見つけることができます。多様な価値観を受け入れ、広い視野と積極性を持った地域のリーダーを育てます。韓国や台湾の姉妹校交流をはじめ様々な国際交流もあります。



4本の波は前身の4校を表し、星は4校が一つになった象徴

横須賀南高校 P T Aには、広報委員会、成人委員会、環境安全委員会の3つがあります。広報委員会では年2回広報紙を発行しています。成人委員会では手話教室と社会見学を実施し、アロマ教室も予定。環境安全委員会は自転車登校する生徒の自転車整備点検と正門付近に花を植えるなどの環境整備を行っています。P T A全体での活動として文化祭の模擬店やマラソン大会での豚汁提供を予定していましたが、残念ながらコロナの影響

で行うことができませんでした。そんな中、先生よりコロナ禍で子ども達は密を避け、中庭で昼食をとっていると伺いました。地面に直に座って食べている子もいるそうです。急遽 P T A でベンチを作成することにし、最小限の人数、短時間で4脚ベンチを作成！中庭に置きました。子どもたちが活用してくれているようでうれしい限りです。



地べたに座る高校生画像のかわりに明光からのアイドルのクロをご覧ください



ベンチ完成！

次に2つの P T A の合併についてです。まず決めたことは、組織と活動内容です。役員及び各委員会の委員長・副委員長を決める際に、パワーバランスが崩れないよう大楠と明光のメンバーができるだけ両方入っているように心掛けました。両校の委員会の数にも差がありましたが、委員長等の人選の難しさを踏まえ、新校には少ない方の3つの委員会を置きました。活動予定の決定には新役員候補の意見を主にとりいれ、両 P T A の活動内容を比較し見直しました。決定した委員会と活動内容により、予算を作成し、新規約を作りました。また P T A 所有の物品のうち不要な物を処分し、

必要なものが所定の位置におさまるよう事前準備を念入りに行いました。

両校の役員が集まる日程が少なかったため限られた時間内で話し合いは大変でしたが、それ以上に大変だったのは活動方法の差です。明光は保護者が中心で活動していたのに対し、大楠は先生からの主導で動く事が多かったため、新校ではどうなるのかお互い不安でした。実際は話し合いを重ね調整していったため、何もトラブルは起こりませんでした。しかしコロナの影響で、色々な活動ができなかった中、新校としてのスタートはまだきれた実感がありません。新校としての形を今後も徐々に作り上げていくことができると願っています。